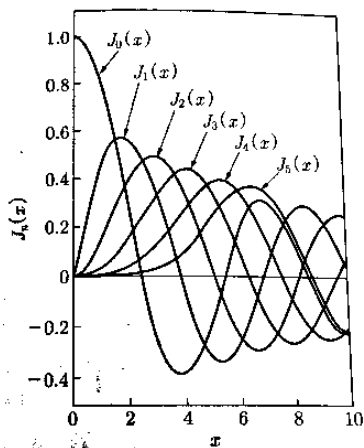


11/21 提出用

$n$ が0 または正の整数の時  
 $J_n(x)$ は次の図の通り。



出典:教科書 71 頁 図 6-1

$n$ が負の整数の時

$$J_n(x) = \left(\frac{x}{2}\right)^n \sum_{m=0}^{\infty} \frac{(-1)^m \left(\frac{x}{2}\right)^{2m}}{m! (n+m)!}$$

より、

$$|J_n(x)| = |J_{-n}(x)|$$

と考えてよい

出典:教科書 72 頁 式 6-8

図より

$$\begin{aligned} |J_5(4)| &= 0.13 \\ |J_4(4)| &= 0.28 \\ |J_3(4)| &= 0.43 \\ |J_2(4)| &= 0.36 \\ |J_1(4)| &= 0.07 \\ |J_0(4)| &= 0.40 \end{aligned}$$

であるため、

$$\begin{aligned} |J_{-5}(4)| &= 0.13 \\ |J_{-4}(4)| &= 0.28 \\ |J_{-3}(4)| &= 0.43 \\ |J_{-2}(4)| &= 0.36 \\ |J_{-1}(4)| &= 0.07 \end{aligned}$$

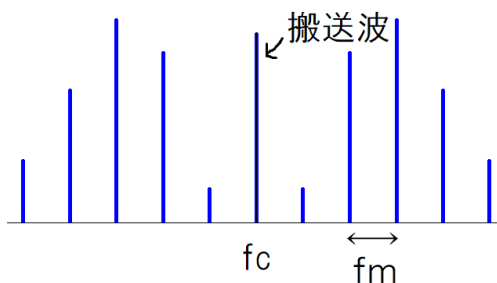
ともいえる。

ここで、

$$f_{FM}(t) = A_c \sum_{n=-\infty}^{\infty} J_n(m_{FM}) \cos\left(2\pi(f_c + nf_m)t + \frac{n\pi}{2}\right)$$

出典:教科書 70 頁 式 6-7

であり、周波数変調波は、周波数 $f_c + nf_m$ で振幅 $A_c |J_n(m_{FM})|$ の正弦波を合成したものであるといえる。よって、スペクトルは



となる。

補足:

$$f_{FM}(t) = A_c \sum_{n=-\infty}^{\infty} J_n(m_{FM}) \cos\left(2\pi(f_c + nf_m)t + \frac{n\pi}{2}\right)$$

出典:教科書 70 頁 式 6-7

より、

$f_{FM}(t)$ をフーリエ変換した $F_{FM}(f)$ は

$$F_{FM}(f) = A_c \sum_{n=-\infty}^{\infty} \int_{-\infty}^{\infty} J_n(m_{FM}) \cos\left(2\pi(f_c + nf_m)t + \frac{n\pi}{2}\right) e^{-j2\pi ft} dt$$

であるが、

$$J_n(m_{FM}) \cos\left(2\pi(f_c + nf_m)t + \frac{n\pi}{2}\right)$$

は周波数 $f_c + nf_m$ で振幅 $|J_n(m_{FM})|$ の正弦波そのもの

なので、

$$F_{FM}(f) = A_c \sum_{n=-\infty}^{\infty} |J_n(m_{FM})| \delta(f - f_c - nf_m)$$